

令和9(2027)年度 日本体育大学大学院 身体総合学術研究科 身体総合学術専攻 博士前期課程 学生募集要項

柔道整復学学位プログラム

本研究科入学試験の出願手続きはインターネット出願（以下、Web 出願という。）となります。
出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、本学のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

日本体育大学

目 次

I. 身体総合学術専攻 柔道整復学学位プログラム 博士前期課程について

1. 人材養成その他教育研究上の目的 3
2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 3
3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） 3
4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） 4

II. 受験要領

1. 募集人員 4
2. 出願資格 4
3. 入学試験日程等 5
4. 選抜区分及び出願要件 5
5. 出願書類 6
在留外国人の方・外国の学校出身の方へ 7
6. 外国籍を有する者の出願書類について 8
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について 8
8. 出願手続 9
9. 受験票について 9
10. 選抜要領 9
11. 受験上の注意 10
12. 合格発表 11
13. 入学手続 11
14. 学 費 12
15. 出願前の個別審査が必要な方へ 《出願資格認定審査について》 13

III. 2027 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域【博士前期課程】 15

〔博士前期課程〕 研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む） 18

《Web 出願の流れ、出願写真に関する注意事項》 (巻末)

《各種様式・所定用紙》 (別添)

博士前期課程提出用紙

「履歴書」、「志望理由書」、「承諾書」、「在職証明書」、「研究計画書」、「研究活動調書（様式）」、「外国人入学願書」、
「入学試験に係る事前相談について」

出願資格認定審査申請書類

「出願資格認定審査申請書」、「在職証明書」、「研究歴・指導歴概要書（様式）」

出願者の提出書類について

出願にあたってお知らせいただいた個人情報は、入学試験及び入学後の学内諸手続以外の目的には利用いたしません。

※ I 期試験と II 期試験を受験する場合は、それぞれに願書が必要です。

I. 身体総合学術専攻 柔道整復学学位プログラム 博士前期課程について

1. 人材養成その他教育研究上の目的

柔道整復学に関する深い学識と倫理観、スポーツ領域における高度な専門的実践能力を兼ね備えた人材を養成する。さらに、臨床での課題を探究する研究能力、後進を指導する教育能力の基礎を併せ持ち、将来、柔道整復学の発展を多様な形で担う、指導的役割を果たせる人材を目指す。

科学的根拠に基づき対象者の状態を的確に評価し、最適な施術計画を立案・実践する高度な臨床能力を修得させること、また、臨床上の課題をリサーチクエスションへと構築し、研究を遂行して修士論文にまとめる一連の研究プロセスを実践する能力を育成すること、加えて、臨床や教育の場で後進を効果的に指導するための基礎的な教育能力を涵養することを目的とする。

2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院学則及び関連規程に規定する修了の要件を充足した上で、次の知識・能力を有することが認定されたものに修士（柔道整復学）の学位を授与する。

[DP1：学際的知識]

身体に関する学際的視点（体育学・教育学・保健医療学）に基づき、柔道整復学を多角的に捉える幅広い知識を有している。

[DP2：医科学的基盤知識]

保健医療学の基盤となる解剖学・生理学および研究方法論に関する高度な専門知識を有している。

[DP3：高度臨床・スポーツ実践力]

科学的根拠に基づく臨床推論、施術能力、およびスポーツ外傷・救急における卓越した実践力を有している。

[DP4：教育・指導能力]

臨床および教育現場において、エビデンスに基づき後進を育成・評価できる指導的資質を有している。

[DP5：国際・情報発信力]

英語文献の読解や統計学的分析に基づき、柔道整復学の知見を論理的に整理し発信する能力を有している。

[DP6：研究遂行能力]

自ら課題を見出し、適切な研究計画の立案から修士論文の完成に至る一連のプロセスを遂行できる。

3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を達成するため、「大学院共通科目」「保健医療学研究群共通科目」「保健医療学研究群専門科目」「保健医療学研究群研究指導科目」により体系的に教育課程を編成している。

[CP1：学際的視点の養育] DP1 に対応

「大学院共通科目」に「身体総合学術論」を配置し、身体を多角的に分析する総合知を養う。

[CP2：医科学基盤と方法論の確立] DP2 に対応

「保健医療学研究群共通科目」に「保健医療学研究法特論」「解剖学特論」「臨床運動生理学特論」を配置し、専門性の土台となる高度な医科学知識を養う。

[CP3：高度臨床・スポーツ専門演習] DP3 に対応

「専門科目」に「柔道整復学特論」「柔整評価・臨床推論・施術演習」「スポーツ外傷・障害評価法演習」「スポーツ救急演習」を配置し、卓越した実践力を養う。

[CP4：指導者養成と臨床実習] DP4 に対応

「専門科目」に「医療者教育評価法概論演習」「クリニカル・スーパービジョン概論」および「柔整臨床・教育実習 I・II」を配置し、次世代を育成する指導能力を養う。

[CP5：グローバル・統計スキルの修得] DP5 に対応

「研究群共通科目」に「医療英語特論」「医療統計学特論」を配置し、国際的な知見の吸収と科学的なデータ分析・発信能力を養う。

[CP6：研究の統合と実践] DP6 に対応

「研究指導科目」に「柔道整復学研究 I・II・III・IV」を配置し、指導教員のもとで修士論文を完成させる。

4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

柔道整復学学位プログラムの教育目的を達成するために、以下の資質を有する学生を求めます。

[AP1：基礎知識と探究心] 柔道整復師としての基礎的知識・技能を有し、DP1・2 の修得に必要な学際的・医学的な探究心を持つ者。

[AP2：実践と自己研鑽] DP3 の修得に向け、臨床やスポーツ現場の課題を解決しようとする強い向上心を持つ者。

[AP3：教育・指導への志向] DP4 の修得を目指し、将来、臨床実習指導者や教育者として後進の育成に携わる意欲を持つ者。

[AP4：学術的意欲] DP5・6 の修得に向け、英語文献の読解や統計手法、論理的な論文作成に粘り強く取り組む意志を持つ者。

II. 受験要領

1. 募集人員

身体総合学術研究科 身体総合学術専攻

課程	学位プログラム	募集人員 (I期募集、II期募集あわせて)
博士前期課程	柔道整復学学位プログラム	2名

2. 出願資格

【一般選抜】

[柔道整復学学位プログラム]

柔道整復師資格取得者または柔道整復領域の研究に対する強い意欲がある者

上記に定められた条件を満たす者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和9（2027）年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年(2027年)3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

- (9)令和 9 (2027) 年 3 月末日で大学に 3 年以上在学し、優れた成績で所定の単位を修得したものと、本大学院が認めた者
- (10)本大学院において行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、入学時までには 22 歳に達する者

※重要：出願資格(9)(10)の該当者は、事前に出願資格認定審査が必要です。

《出願資格認定審査について》を確認し手続きをしてください。出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

3. 入学試験日程等

出 願 期 間 (Web 出願登録、出願書類受付期間) ※期間内消印有効	I 期試験	II 期試験
	2026 年 10 月 2 日(金) ～2026 年 10 月 9 日(金)	2026 年 12 月 21 日(月) ～2027 年 1 月 8 日(金)
試 験 日	2026 年 11 月 7 日(土)	2027 年 2 月 6 日(土)
合 格 発 表 日	2026 年 11 月 13 日(金)	2027 年 2 月 12 日(金)
入 学 手 続 締 切 日	2026 年 11 月 27 日(金)	2027 年 2 月 26 日(金)

4. 選抜区分及び出願要件

選抜区分	出願要件
一 般 選 抜	「2.出願資格」に該当する者
社 会 人 選 抜	「2.出願資格」に該当し、且つ以下の(1)、(2)いずれかに該当する者 (1) 国家資格者（柔道整復師資格）として、入学時までには通算 2 年以上の実務経験が見込まれる者 (2) 青年海外協力隊などで海外における社会貢献活動の経験を入学時に原則として 2 年以上有する者

※出願資格(9)、(10)の該当者は、事前に出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に**一般選抜**にて出願することができます。

5. 出願書類

出願書類のうち所定用紙となっているものは、別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

※提出する各種証明書の記載氏名が出願時の氏名と異なる場合は、氏名変更が確認できる戸籍抄本等の書類もあわせて提出してください。

●：全員提出 △：該当者のみ提出

(注意：提出書類について) 提出書類のサイズは全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。		提出該当者	
		一般選抜	社会人選抜
出願書類	連絡事項・注意事項		
(1)志願票・写真票	Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。	●	●
(2)履歴書（所定用紙）	・「学歴」欄は高等学校卒業から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。大学、研究所等で研究生等の研究歴がある場合は、その期間も記入してください。 ・「職歴」欄は勤務していた全ての職を年月順に記入してください。社会貢献活動の経験はこの欄に記入してください。 記入欄が不足した場合は、同一様式の別紙に記入し添付してください。	●	●
(3)志望理由書（所定用紙）	必ず希望する研究指導教員と履修・研究等について相談し、指導の同意を得てください。 ・「2027 年度研究指導担当教員及び研究指導領域」、「研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）」参照。	●	●
(4)学業成績証明書	出身大学長が作成したもの。	●	●
(5)卒業(見込)証明書	出身大学長が作成したもの。 ※出願資格に関わるもの	●	●
(6)資格取得に関する証明書 ※ 日本体育大学保健医療学部在学学生については、卒業見込証明書で可とする。	厚生労働大臣により発行された以下の免許証（写し）または免許取得課程を修了見込みであることが証明できるもの（原本） ・柔道整復師免許証	△	△
(7)承諾書（所定用紙）	在職のまま入学予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。	△	△
(8)在職証明書（所定用紙） または派遣証明書 ※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したもので可。	現在在職中で【社会人選抜】で出願する者 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。但し、ご事情により在職証明書が提出できない場合は、第 3 者の証明による書面等をご提出頂くことでも構いません。在職証明書以外の第 3 者の証明による書面は、例えばハローワークで発行される雇用保険受給資格者証や、勤務先における健康保険証に記載の雇用開始日（資格取得年月日）により期間を確認することができますので、こちらのコピーを在職証明書の代わりに提出することも可能とします。		●
(9)研究計画書（所定用紙）	A4 版の用紙（横書き）で、パソコン等により 2,000 字程度で作成し、片面印刷したものを所定用紙に添付してください。 以下の内容に沿って作成すること。 ①研究題目 ②研究の背景及び目的 ③方法	●	●

(10)研究活動調書 (様式)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様式については、同様のものをパソコン等で作成したもので可とする。 ・ 著書、学術論文、翻訳、学会発表等を「著書」・「学術論文」・「その他」に区分し、それぞれの業績を年代順に記載してください。また、「学位論文」(修士論文または博士論文)は最後に記載してください。 ・ 概要欄は、論文、著書等ごとに <u>200 字程度</u>で記入してください。 <p>共著の場合は担当部分及びページ数を明記し、全員の氏名を記載し、本人氏名に下線を引いてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときはその理由を明記してください。(例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学会誌、雑誌等はその名称の他、巻・号まで記入してください。 ・ 学会誌等に投稿予定のものは含めないでください。 ・ 記入欄が不足した場合は同一様式の別紙に記入し添付してください。 ・ <u>本研究科における研究計画の内容と特にかかわりのある「著書」、「学術論文」、「翻訳」、「学会発表の要旨」等がある場合は、それらを証明できる資料(コピー可)を添付してください。掲載予定のものについては、掲載証明書を添付してください。</u> ・ <u>「学位論文」(修士論文または博士論文)(コピー可)を添付してください。</u> 		●
(11)外国籍を有する者の出願書類	<p>外国籍を有する者は、出願書類の他に、以下の書類を提出してください。</p> <p>現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書(3か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの) ②在留カードの写し ③パスポートの氏名・生年月日が記載されたページの写し ④外国人入学願書(所定用紙) ⑤日本語能力を証明する書類 <p>日本留学試験(EJU)の成績証明書(日本語科目の読解・聴解・聴読解 240 点以上、記述 30 点以上の得点が必要です。)または日本語能力試験(JLPT) N1 の合格証明書</p>	△	△

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外(中国を除く)の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

各種証明書の原本※	<p>出身学校から発行されたもの。</p> <p>出身学校から1部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。</p>
日本語または英語翻訳文※	大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。

※日本語教育機関(日本語学校等)が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方へ

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで5週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

- (1) 卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)
CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

- (2) 成績証明書「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)
CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

- (3) 学位取得証明書「学位認証書」(Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)
CHSI (中国高等教育学生信息网) が発行し、英文で記載されたもの。

修士課程を受験する方は、学士学位 (Bachelor's Degree) を取得していることが証明されていること。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>) が取り扱っています。日本国内では CHSI 日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/>) での発行申請が可能です。

※1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター (daigakuin@nittai.ac.jp) に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きをしてください。

6. 外国籍を有する者の出願書類について

外国籍を有する者は、「5. 出願書類」を確認し、所定用紙を提出してください。

なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続時に保証人を定めて届けることとしています。保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者として、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

けが及び障がい等により受験時または入学後の配慮を希望する場合は、下記《事前相談の方法》を確認し、必ず事前相談をしてください。

なお、重度の障がいのある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

- (1) 「入学試験に係る事前相談について」(所定用紙)
- (2) 医師の診断書(原本又は写し)
- (3) 身体障害者手帳(氏名・障がい名の頁の写し)(所持者)
- (4) その他相談する際に必要と考えられる参考資料

8. 出願手続

「Web 出願の流れ」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

(1) 入学検定料の支払い

入学検定料：1 受験につき 35,000 円

Web 出願サイト「STEP 5（入学検定料の支払い）」に従って支払手続きをしてください。

(2) 出願書類の郵送

書類の郵送：出願期間内消印有効

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」で郵送してください。「特定記録郵便物等受領証」は保管しておいてください。なお、窓口での出願受付は行っていません。詳細については、「STEP 6（必要書類の郵送）」を確認してください。

① 志願票・写真票

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

② 選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

- ・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。
- ・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

9. 受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。「STEP 7（受験票の印刷）」を参照のこと。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

10. 選抜要領

【試験実施日】

I 期試験：2026 年 11 月 7 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

II 期試験：2027 年 2 月 6 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

選抜区分	受付時間	試験時間	試験科目	実施要領等
一般選抜 社会人選抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 (60 分)	・当該分野の専門的知識を問う。
		11:00～	口述試験	【一般選抜】出願書類に基づき、研究課題や入学後の研究計画等について日本語で問う。 【社会人選抜】出願書類に基づき、研究課題やこれまでの研究経過（職務経験を含む）及び入学後の研究計画等について日本語で問う。

11. 受験上の注意

(1) 試験当日の注意事項

① 持参するものについて

「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」(任意)

※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

③ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。

④ 車での来学はできません。公共交通機関をご利用ください。

試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。

⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター (03-5706-0915) へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。

⑦ インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

(2) 試験時間中の注意事項

① 「受験票」は、試験担当者が見やすいように机の上に置いてください。

② 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、以下とします。

- ・ 黒鉛筆 (HB)、シャープペンシル (HB)
- ・ 鉛筆キャップ
- ・ プラスチック製消しゴム
- ・ 鉛筆削り (電動式・ナイフ類を除く)
- ・ 時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)
- ・ 眼鏡
- ・ ハンカチ
- ・ ティッシュペーパー (袋または箱から取り出した紙のみであること)
- ・ 目薬

※ 英語試験時に限り、語学辞書の使用が可能です。なお、英語試験時に使用可能な辞書とは、「英和辞書」、「中日辞書」、「韓日辞書」等の語学辞書に限ります。電子辞書、電子手帳等は使用できません。また、医学等専門用語の語学辞書は使用できません。(付箋等は予め取り除いてください。)

③ 「耳せん」は、試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので試験場内では使用できません。

④ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

⑤ 試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

1 2. 合格発表

I 期試験：2026 年 11 月 13 日（金）10 時

II 期試験：2027 年 2 月 12 日（金）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので、下記照会方法をご確認ください。

(1) 利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- ④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間		
I 期試験	2026 年 11 月 13 日（金）～ 2026 年 11 月 27 日（金）	初日 10：00 ～
II 期試験	2027 年 2 月 12 日（金）～ 2027 年 2 月 26 日（金）	最終日 23：59 まで

(2) インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

また、本学ホームページ (<https://www.nittai.ac.jp/>) より、上記アドレスへアクセスできますので、ご利用ください。

1 3. 入学手続

(1) 入学手続時納入金の手続締切日

I 期試験：2026 年 11 月 27 日（金）

II 期試験：2027 年 2 月 26 日（金）

- ① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続きを行ってください。
- ② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- ③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続きをした証明になりますので大切に保管してください。

(2) 入学辞退について

【窓口】 2027 年 3 月 31 日（水） 17：00 まで

【郵送】 2027 年 3 月 31 日（水） 消印有効（速達・特定記録郵便としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1

TEL 03-5706-0915

事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00

冬季一斉休業期間：2026 年 12 月 26 日（土）～ 2027 年 1 月 5 日（火）

14. 学 費

授業料及び施設整備費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学時分の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・施設整備費（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会入会金の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）・施設整備費（後学期分納分）のみとなります。

2027年度 日本体育大学大学院身体総合学術研究科 博士前期課程学費等一覧 (円)

費 目		納入期	金 額			
			日本体育大学以外の卒業生		日本体育大学卒業生	
			前学期	後学期	前学期	後学期
①学 費	入学金	入学時のみ	100,000	—	0	—
	授業料	分納可	350,000	350,000	350,000	350,000
	施設整備費	分納可	50,000	50,000	50,000	50,000
	健康管理費	前学期	10,000	—	10,000	—
②その他 費用	学友会費	前学期	13,000 (入会金1,000円 を含む)	—	12,000	—
	同窓会 入会金	入学時のみ	20,000	—	0	—
総合計 (①+②)		分納の場合	543,000	400,000	422,000	400,000
		一括納入の場合	943,000		822,000	

※ 日本学生支援機構貸与奨学金「授業料後払い制度」があります。制度の利用を希望する方は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

● 「国の教育ローン」(教育貸し付け) について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656 (03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/>から「国の教育ローン」を選択してください。

15. 出願前の個別審査が必要な方へ

《出願資格認定審査について》

本学大学院研究科では、「学校教育施行規則第155条第1項第8号の規定」により、前記「出願資格(9)、(10)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

■審査基準

・博士前期課程の出願資格(9)で出願資格認定審査を受ける場合

出身大学および在籍する大学院における成績ならびに取得した資格等を総合的に判断します。

・博士前期課程の出願資格(10)で出願資格認定審査を受ける場合

本大学院保健医療学研究群博士前期課程での研究目的が明確で、修了後には本学での研究成果により当該学位プログラムで社会に貢献する意欲を有し、最終学歴卒業・修了後、各種の教育・研究機関等において、当該学位プログラム領域の研究に従事した期間が令和9年(2027年)3月31日現在で通算3年以上ある者で、次のいずれかに該当する者。

柔道整復学学位プログラム

専門学校等を卒業し、柔道整復師として令和9年(2027年)3月31日現在で通算3年以上の臨床経験または実務経験を有する者。3年の期間を短縮する場合は、柔道整復領域及びその関連学会等における発表や論文等の学術業績を考慮する。

■出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には、下記書類の提出が必要になります。提出期日等を確認の上、お早目にご準備ください。

事前相談を済ませていない場合は申請できません。また、上記条件を満たした方すべてに受験資格が認められるとは限りませんのでご注意ください。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますので、ご注意願います。

・提出書類

出願資格(9)

- ① 出願資格認定審査申請書(所定用紙)
- ② 学業成績証明書
- ③ 厚生労働大臣が交付した免許証(写し)もしくは、免許取得の課程を修了見込みであることが証明できるもの
- ④ 受験承諾書(学長または学部長が発行するもの:様式任意)
- ⑤ 卒業論文またはこれに準ずるもの等

出願資格(10)

- ① 出願資格認定審査申請書(所定用紙)
- ② 学業成績証明書
- ③ 卒業(見込)証明書(最終学歴のもの)
- ④ 研究歴・指導歴概要書(出願資格認定審査 様式)
 - ・ 学歴、職歴、実務経験(研究歴・指導歴を含む)、資格、これまでの学習内容等を記載し、大学卒業と同等以上の学力があると判断する理由が説明されているもの
- ⑤ 研究歴・指導歴、専門的な業務に従事したことを証明するもの
 - ・ 研究歴を証明するもの…教育・研究機関等の在職(在籍)証明書、研究歴証明書等
 - ・ 専門的な業務に従事したことを証明するもの…教育・研究機関等の在職(在籍)証明書等
- ⑥ 自己の著書、論文または国家資格等自己の能力を証するものがある場合は、当該著書、論文もしくは当該自己の能力を証する書類
- ⑦ 厚生労働大臣が交付した免許証(写し)もしくは、免許取得の課程を修了見込みであることが証明できるもの

・提出方法

封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「速達・特定記録郵便」で必要な書類を大学院教学センターに郵送してください。「特定記録郵便等受領証」は保管しておいてください。

・提出先 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 日本体育大学 大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）

I期試験：2026年9月4日（金）必着

II期試験：2026年12月1日（火）必着

・審査結果

I期：2026年9月11日（金）、II期：2026年12月11日（金）

登録されたメールアドレスにお知らせします。

III. 2027 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域

柔道整復学学位プログラム 博士前期課程

研究指導担当教員の表記内容		
★★	研究指導教員	研究指導を担当することができる
★	研究指導補助教員	研究指導教員とともに研究指導ができる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願することがないようにして下さい。

教員検索（大学HP 教員情報データベース）		研究者検索（国立研究開発法人科学技術振興機構）	
-----------------------	---	-------------------------	---

柔道整復学学位プログラム

（コース・50 音順）

教員名	研究指導領域
★★ 教授 伊藤 譲 博士（医学）	研究分野：柔道整復学
	研究内容のキーワード：運動器外傷、スポーツ外傷、運動器疾患の評価、コンディショニングと外傷予防、柔道整復師養成教育 柔道整復の日常業務（施術）に関する疑問をもとに、以下のような課題について検討します。 ① 手技療法、物理療法、運動療法の効果について ② 筋や靭帯等の超音波観察装置を用いた評価について ③ 生成AIを活用した教育手法の開発 これまでに、当研究室で修士号を取得した院生の研究テーマは以下の通りです。 ① 大学男子ラグビー選手を対象とした下肢の外傷・障害既往歴に関する検討 ② 高周波通電刺激が筋硬度と筋収縮特性に及ぼす影響 ③ 大学男女サッカー選手の傷害既往歴に基づく下肢の身体的特徴に関する検討 ④ 足関節への急激な内反刺激による腓骨筋の反応 ⑤ シューレースの締め方が静止立位時の重心動揺、歩行と片脚幅跳び跳躍距離に及ぼす影響 ⑥ 徒手およびストレス負荷装置による足関節前方引出し時の超音波画像診断装置による評価－足関節捻挫に対する前方引出しテストの信頼性向上を目標として－ ⑦ 脱臼・骨折シミュレーターを用いたコレス骨折の徒手整復に対する教育手法の検討 ⑧ 投法の違いが前腕屈筋群の筋硬度に及ぼす影響－柔道整復師による投球障害肘予防法の確立を目指して－ ⑨ 温熱療法と電気療法の併用が運動後の筋に及ぼす影響について ⑩ リトルリーグ選手の肘関節外反トルクの多面的検討－柔道整復師による投球障害肘予防を見据えて－このように様々な研究に取り組んでいます。
★★ 教授 稲川 郁子 博士（教育学）	研究分野：柔道整復学、教育学、柔道
	研究内容のキーワード：柔道整復師、教育、柔道 柔道整復師と教育のあり方をめぐる以下のような研究課題について、特に質的手法を用いて検討します。 ① 柔道整復師の熟達化 ② 柔道整復師による一回起性の高い臨床経験のアーカイブ化 ③ 柔道整復師養成施設と教育 ④ 嘉納思想と柔道整復師

教員名	研究指導領域
<p>★★ 准教授 上倉 將太 博士（スポーツ健康科学）</p>	<p>研究分野：トレーニング科学、アスレティックリハビリテーション</p> <p>研究内容のキーワード：アスレティックリハビリテーション、運動療法、スポーツ理学療法、スポーツ外傷・障害の予防、コンディショニング</p> <p>運動器の外傷・障害に対して、その疾病構造を理解し、臨床推論を基に病態を改善する運動療法とそれらの障害予防について検討する。</p> <p>主な研究調査領域として、外傷・障害に対する治療選択について検討する。対象が高齢者の場合は、介護予防を目的とした身体機能改善について、若年者においては健康増進を中心に調査する。また、アスリートに対して、球技選手を中心としたコンディションチェック方法の確立と積極的なりカバー方法について、さらには下肢の障害予防を中心に研究を行う。</p>
<p>★★ 講師 小林 喜之 博士（医学）</p>	<p>研究分野：複合領域</p> <p>研究内容のキーワード：柔道整復学、外傷学、動作分析</p> <p>運動器の外傷や障害に対する病態の解明及び受傷機転の解析、治療法について研究していく。</p> <p>特に形態・機能解剖に基づく動作解析、対象がアスリートや高齢者であれば一般的な外傷や障害との比較検討し、予防的観点も踏まえて研究する。また、柔道整復学領域の専門的知識と臨床技術を駆使して治療方法について検証していく事で、健康保持・増進や身体機能改善などの効果が結果として現代社会に良い方向へと導けるよう検討していく。</p>
<p>★★ 教授 小山 浩司 博士（体育科学）</p>	<p>研究分野：柔道整復学、スポーツ医学</p> <p>研究内容のキーワード：超音波画像装置、運動器疾患、姿勢</p> <p>柔道整復術の有効性を科学的手法で検証し、エビデンスに基づいた施術アプローチの確立を目指します。超音波画像装置を活用して施術による身体の変化を可視化し、その効果を客観的に検証します。</p> <p>現在、主に以下の研究に取り組んでいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 柔道整復施術前後における組織変化の比較研究 ② 運動器疾患に対する予防的アプローチに関する研究
<p>★★ 教授 白石 聖 博士（医学）</p>	<p>研究分野：運動器測定評価学、衛生学公衆衛生学</p> <p>研究内容のキーワード：骨格筋循環、関節アライメント、スポーツ傷害、傷害予防、ヘルスプロモーション</p> <p>健康の保持・増進に資することを目的とし、加齢による運動器機能の低下や外傷や障害の発生に関する構造的・機能的要因について研究を行う。修士課程では臨床から生まれた研究課題など比較的広い範囲を対象として科学的な分析を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 骨格筋循環と筋機能低下および外傷・障害発生に関する研究 ② 関節アライメントと運動機能低下および外傷・障害発生に関する研究 ③ 健康寿命延伸のための歩行能力の保持・向上に関する研究
<p>★★ 教授 橋本 俊彦 博士（医学）</p>	<p>研究分野：スポーツ医学、整形外科学、運動学</p> <p>研究内容のキーワード：スポーツ外傷、要因分析、受傷機転の解析</p> <p>スポーツ外傷は、環境的要因、身体的要因、心理的背景などの発生要因が複合的に誘因となり、受傷時の身体部位に生じる衝撃によって病態が決定される。この一連の過程に関連する以下の項目を研究テーマとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スポーツ外傷の発生する要因分析 ② スポーツ外傷における受傷機転の解析 ③ スポーツ外傷の予防
<p>★ 教授 服部 辰広 修士（保健医療学）</p>	<p>研究分野：運動器外傷学</p> <p>研究内容のキーワード：柔道整復術、外傷・障害調査</p> <p>柔道整復学の構築に関する研究</p> <p>柔道整復師が行う治療（整復法・固定法・後療法）は経験に基づくことが多く、科学的根拠が必ずしも明確ではありません。伝承的に受け継がれる手技・手法について、科学的根拠に基づき以下の調査・研究を実践し、柔道整復学の構築について検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外傷・障害発生に関する疫学調査 ② 柔道整復師が行う治療法の科学的検証

教員名	研究指導領域
<p>★★★ 准教授 樋口 毅史 博士 (医学)</p>	<p>研究分野：柔道整復術、パラスポーツ、障がいを持つ人のコンディショニングおよびトレーニング</p> <p>研究内容のキーワード：柔道整復、運動器外傷学、重心動揺、パラスポーツ</p> <p>① 柔道整復術が社会におよぼす影響について、施術方法、施術内容、施術料金等に関する検討 ② スポーツ現場における柔道整復師の役割・将来の可能性に関する検討。特に障がい者のスポーツに対する柔道整復師の役割について ③ 運動器損傷・障害の対処とスポーツ医および他の医療関連職種との連携に関する検討 ④ 小児から高齢者に対する外傷予防に関する検討。特に動的重心動揺特性について基礎的な研究</p>
<p>★★★ 教授 松田 康宏 博士 (工学)</p>	<p>研究分野：生体医工学</p> <p>研究内容のキーワード：血流計測、手技療法、物理療法</p> <p>柔道整復師が行う様々な施術によって筋血流が変化するとされている。しかし、それらの研究は他の医学分野に対して立ち遅れ、科学的な根拠に基づいた評価方法がまだ確立されていない。そのことから、柔道整復師が行う徒手的に行う手技療法やストレッチング、医療機器を使用した物理療法などの治療法が筋肉血流にどのような影響を及ぼすのかを明らかにするための研究を進めていく。</p>
<p>★★★ 教授 渡邊 学 博士 (体育科学)</p>	<p>研究分野：アスレティックリハビリテーション、トレーニング科学</p> <p>研究内容のキーワード：スポーツ外傷・障害、障害予防、身体の構造、アライメント、身体動作</p> <p>運動器の外傷と障害を研究テーマとする。 多様化する対象者の病態を理解し人々を支援する専門領域として、障害予防におけるアライメント評価とトレーニング方法に関する領域を研究する。 研究の実施は、身体の構造とアライメント、身体動作の3つを基盤とする考えを軸とし、臨床に直結した研究を進める。また、柔道整復師における高度な専門知識と臨床技能の知見を深め、臨床で生じる疑問に対して、その現象を解明することを研究課題として検討する。</p>

[博士前期課程] 研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)

(教員資格欄) 指導－研究指導教員

(補助)－研究指導補助教員

市街局番 ・東京(03)、・横浜(045)

	教員資格	氏名	フリガナ	東京・世田谷キャンパス 電話番号	横浜・健志台キャンパス 電話番号	メールアドレス
あ	指導	伊藤 譲	イトウ ヌヅル		507-6245	itoh@nittai.ac.jp
	指導	稲川 郁子	イナガワ イコ		507-1519	inagawa@nittai.ac.jp
か	指導	上倉 将太	カミクラ ショウタ		507-3421	s-kamikura@nittai.ac.jp
	指導	小林 喜之	コバヤシ ヨシキ		507-3487	y-kobayashi@nittai.ac.jp
	指導	小山 浩司	コヤマ コウジ		507-7993	k-koyama@nittai.ac.jp
さ	指導	白石 聖	シロイシ ヒロシ		507-1732	shiroishi@nittai.ac.jp
は	指導	橋本 俊彦	ハシモト シン		507-1286	hashimoto776@nittai.ac.jp
	(補助)	服部 辰広	ハットリ タツヒロ		507-5384	t-hattori@nittai.ac.jp
	指導	樋口 毅史	ヒグチ タシ		507-5374	t.higuchi@nittai.ac.jp
ま	指導	松田 康宏	マツダ ヤスヒロ		507-5269	ymatsuda@nittai.ac.jp
わ	指導	渡邊 学	ワタナベ マナブ		507-1343	watanabe-ma@nittai.ac.jp

Web出願の流れ



入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、各選抜毎の提出書類など



STEP

2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nittai-net/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.nittai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



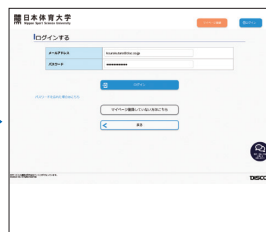
② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



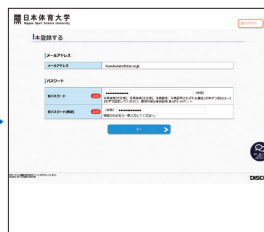
③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類はいかなる理由でも受け付けません。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので**ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②大学・大学院区分の選択



③選抜区分選択と留意事項の
確認



④志望学部等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



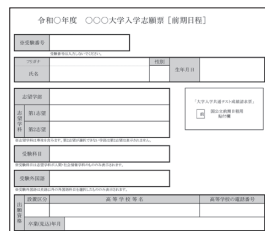
⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)
確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi LAWSON MINI STOP

マルチコピー機 あなたも、コンビニ、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

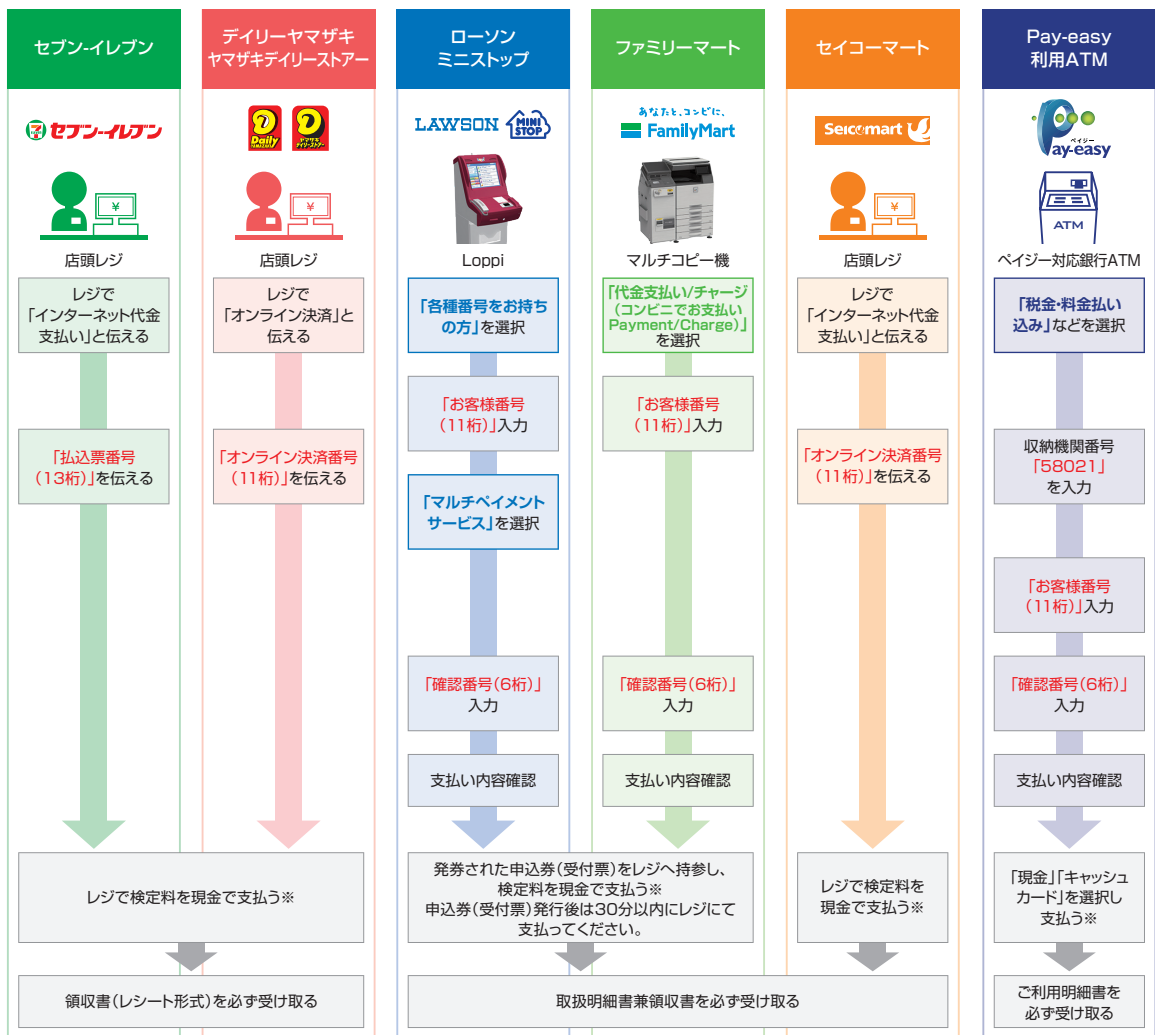
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」で郵送してください。（出願期間内消印有効）



■ 出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

必要書類	必要部数	内容
① Web志願票・写真票	各1	入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。
② 各選抜毎の提出書類	1	詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

※ 出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験3日前までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（※郵送はいたしません）。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



《出願写真に関する注意事項》

適切な写真例



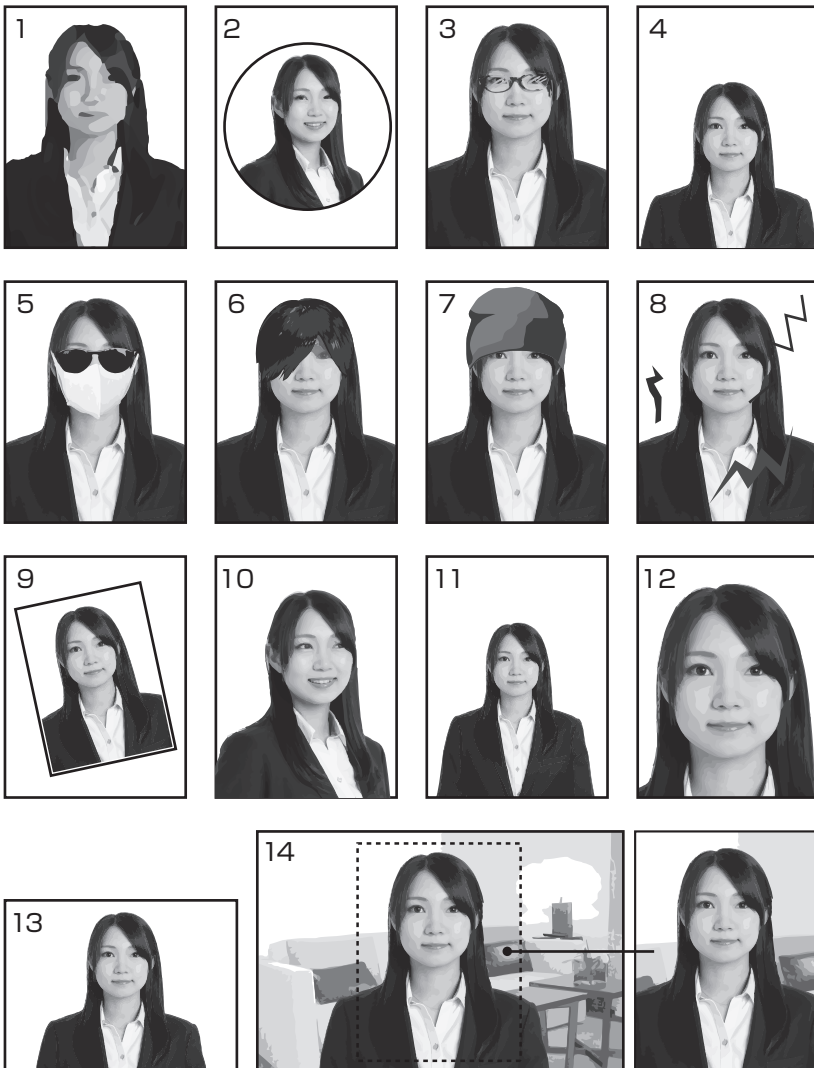
縦 4 cm

横 3 cm

■ 写真の規定

- 写真サイズは縦 4 cm × 横 3 cm
- カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- 出願前 3ヶ月以内に撮影したもの
- 背景は無地(白・青・グレー)に限ります
- 正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- 上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- 所定用紙(受験票・写真表・志願表)に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意ください。



■ 受付できない写真例

- 1, 被写体が不鮮明(画像が荒い)
 - 2, スナップ写真・SNS・ブログ等から流用した写真
 - 3, 眼鏡のレンズに光が反射している
 - 4, 頭上の余白部分が多い
 - 5, サングラスやマスクをしている
 - 6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない
 - 7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている
 - 8, 変色していたり、キズや汚れがある
 - 9, 証明写真を再撮影したもの
 - 10, 被写体が正面を向いていない
 - 11, 被写体が小さい
 - 12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している
 - 13, 写真サイズが横に長い
 - 14, 背景に家具等が写っている
- ※ 該当する場合は必ず撮り直してください。